



真瀬川黒滝 38 2 16

白瀑と黒滝

八峰白神ジオエリアには奇しくも二つの滝、「白瀑」と「黒滝」があります。白瀑は「みこしの滝あび」で親しまれている白瀑神社境内の裏にある滝です。さて、黒滝はどこにあるのでしょうか。そうです、真瀬川上流の支沢のひとつである中ノ又沢にあります。ジオエリアマップでは⑨番の位置にあり、真瀬岳に登山する人たちや林業にたずさわる人々にとっては、道すがら見ることができるので馴染み深い滝

鉄の色を凝らして立つ岩に  
懸りて揺ぐ滝のいく筋

となつています。この黒滝を最初にスケッチと短歌で紹介した方が、本連載でたびたびご紹介した、元秋田大学学長であられた渡辺万次郎博士であります。昭和38年8月にこの地を訪れて、真瀬川溪谷の美しさに心を奪われていた様子でした。そしてこの黒滝が眼前に現れた時の様子を短歌に書き留めてあります。

玄武岩の生い立ち

図に描かれている滝は同氏が描かれたスケッチです。水量は少なく、白瀑のように勢いよく流れることはなく、筋状になって流れています。そして黒い玄武岩でできている岩肌は白い筋状の水の流れを際立たせていて、見る人を引きつけます。さて、この玄武岩はどんな岩石なのでしょう。地下50〜200kmにどろどろに溶けたマグマができることがあります。そのマグマが地表に向かって

上昇してくると、マグマの温度が少しずつさがり、やがてかたまってしまう。こうしてできた岩石を火山岩とよんでいます。火山岩はマグマの成分のちがいがら三つに分類されていて、それぞれ玄武岩、安山岩、流紋岩とよんでいます。玄武岩は黒っぽく、流紋岩は白っぽい石で、安山岩はその中間の色を示します。八峰町ではこの三種の石が見られるので、山菜採りの時や磯釣りの時など、三種の石を探してみるのも楽しいものかもしれません。ちなみに黒滝を作っている玄武岩には「一ノ又沢玄武岩部層」といういかめしい名前がつけられていて、八森地区では一ノ又沢流域の中心域にだけ分布しています。

八峰白神ジオパーク推進協議会

研究専門員 工藤 英美

八峰町八森三十釜一四四一

ぶなつこランド内

TEL 018517713086

平成27年4月12日実施

秋田県議会議員一般選挙  
投票結果



現職・新人が当選  
投票率は低下

統一地方選の前半戦となる秋田県議会議員一般選挙が4月12日、町内8か所の投票所で行われました。定数4人に、現職2人、新人4人の6人による選挙戦となりましたが、即日開票の結果、現職1人と新人3人が当選を果たしました。本町の投票率は66・72%で、前回より1・06%低くなりました。また、期日前投票を利用した人は1,984人と投票者総数の43・91%を占めました。

投票区別投票結果

投票区	当日有権者数	投票者数	投票率
大沢	594	397	66.84%
石川	452	335	74.12%
田中	690	471	68.26%
水沢	1,087	744	68.45%
目名瀧	664	424	63.86%
八森	1,048	681	64.98%
観海	1,510	993	65.76%
岩館	727	473	65.06%
合計	6,772	4,518	66.72%

開票結果

	得票数	票数	
		八峰町	能代市山本郡
当選 佐藤信喜	889票	8,515票	
当選 能登祐一	754票	8,285票	
当選 高橋武浩	729票	8,037票	
当選 薄井 司	610票	7,500票	
次点 吉方清彦	567票	7,155票	
中田 潤	937票	7,145票	

明るい選挙推進協議会が  
投票を呼びかけました

4月4日(土)、産直施設おらほの館の前で、八峰町明るい選挙推進協議会(小沢悟会長)の委員による街頭啓発活動が行われました。委員は施設を訪れたお客さんに「明るい選挙をお願いします」と声をかけながら啓発用品を渡し、県議選への投票を呼びかけました。

